

今年は、樺島を調査しました。その概要についてお知らせします。

1 樺島の概要

樺島は、長崎半島の南端に位置し、現在は長崎市（2005年（平成17年）1月3日までは西彼杵郡野母崎町）に属しています。長崎半島とは途中にある無人島の中島を経由して架橋された樺島大橋（1986年（昭和61年）開通、全長227m）で結ばれています。島の周囲は7.5km、大部分が山で、民家は中島を挟み長崎半島に相対する北部の樺島漁港周辺（古町と新町）に集中しています。平成28年の人口（住民基本台帳）は285世帯、543人です。丘陵地の斜面でビワなどが栽培されていましたが、人口減少による後継者不足で放置された地域には低木が茂っています。現在は漁業と長崎名産（珍味）のからすみの製造が盛んです。

島の南端には1932年（昭和7年）に完成した野母崎灯台があります。昭和28年には樺島灯台と名称が変更され、職員が常駐していましたが、昭和46年に無人化されて現在に至っています。また、樺島小学校は136年の歴史がありましたが2010年（平成22年）3月（野母崎地区4校の統廃合）で閉校しました。

1974年に施工された樺島地下ダムは、我が国で最初の地下ダム建設事例として知られています。地下ダムは、地下の帯水層中に止水壁を築き、地下水を堰上げ、沿岸域では海水の浸入を防止することにより、新たな地下水開発を行う施設です。樺島地下ダムは、国内初の水道専用ダムとして設置されました。貯水量は20,000m³で、オーバーフローした水が地表に貯まり浅い池となっています。

さらに、島内の井戸や地下ダムにはオオウナギが生息しており、オオウナギのすむ井戸は分布北限地として天然記念物に指定されています。また、地下ダムや周囲の山林は渡り鳥の中継地となっており、県内外から多くのバードウォッチャーが訪れます。昆虫についても、対岸の脇岬・野母崎とともに迷蝶がよく採れることで有名です。

このような樺島ですが、これまで昆虫についてまとめた報告はありません。これらの状況をふまえ、昆虫に関する基礎資料を得る必要があると考え、2019年の調査地を樺島に選定しました。

2 調査

(1) 期間

2019年1月～12月（毎月）

(2) 調査地点

灯台周辺、地下ダム周辺、お大師様など神社周辺、海岸周辺、民家周辺の5つ。

(3) 方法

見つけ取り、スワイピング、叩き網、石起こし、灯火採集、エンジンプロア、朽ち木割り、ベート・トラップなど。

(4) 調査員

深川元太郎氏（長崎市自然環境調査員）と共同で実施しました。また、長崎北高等学校理科部と長崎西高等学校生物部および顧問の長嶋哲也氏には採集の協力を、安永智秀博士には採集と標本の同定で協力をいただきました。



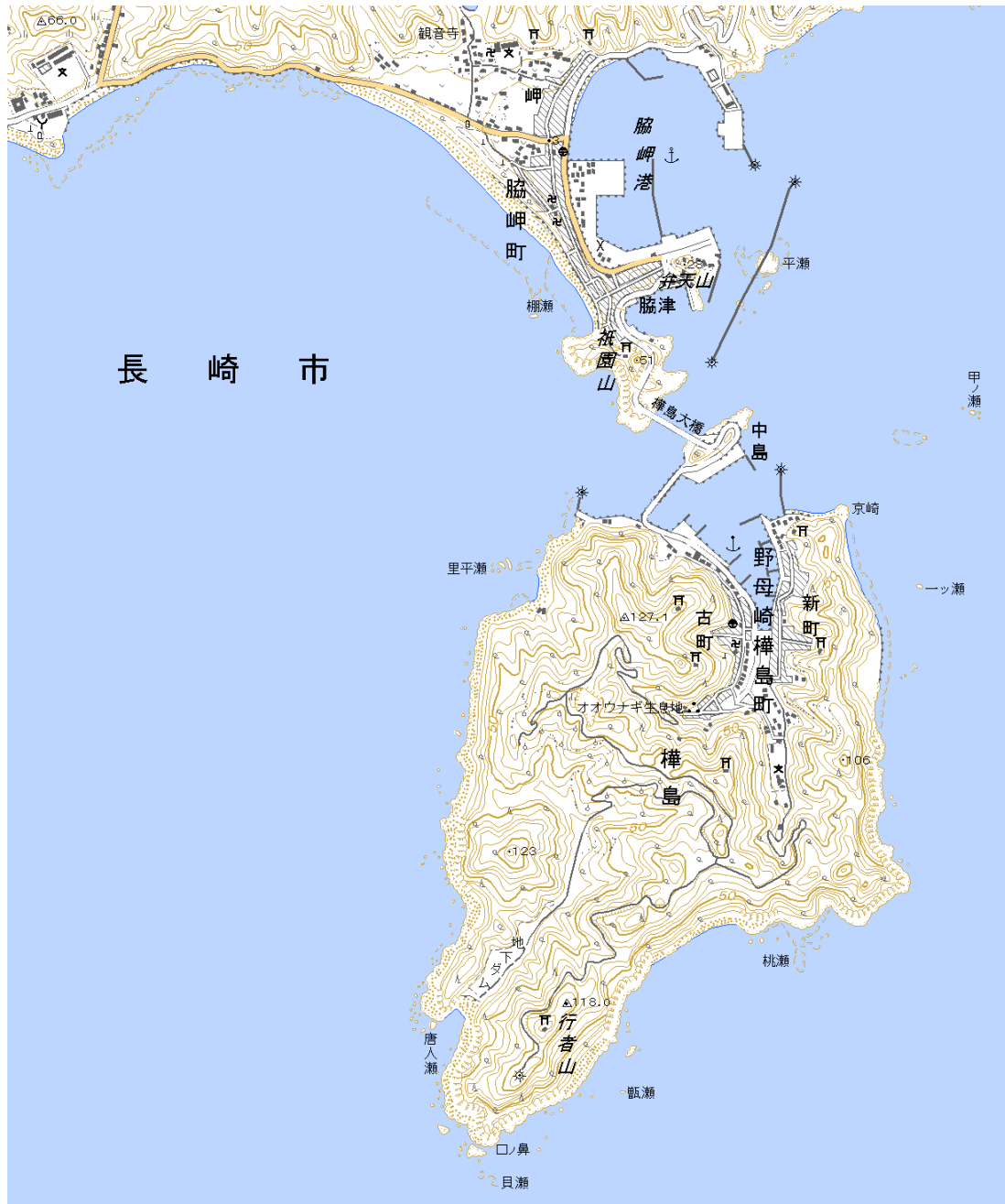
灯火採集



エンジンブロー



石起こし



相模島地形図（国土地理院）

3 調査結果及び考察

今回の調査と 2013 年に地下ダム周辺のみを調査した結果をもとに、筆者が島内で確認した昆虫のみについて、概要を報告します（全体の報告書は別途作成の予定です）。

(1) 確認数

総確認数は 540 種で、主なグループ別の確認種数は次のとおりでした。まだまだ不十分ですが、基礎資料は得られたと思います。今後も調査を継続していきたいと思います。

蜻蛉目：31 種	竹節虫目：3 種	蟷螂目：4 種	ゴキブリ目：5 種
直翅目：31 種	半翅目：100 種	脈翅目：5 種	鞘翅目：141 種
膜翅目：30 種	双翅目：35 種	鱗翅目：135 種	その他：20 種

(2) 特定種

長崎市、県、環境省のレッドデータリストに記載されている特定種は 18 種を確認しました。その一部を紹介しておきます。

マダラゴキブリ 市：NT

オオキンカメムシ 市：NT

コカブトムシ 市・県：VU・NT

ゲンジボタル 市：NT

ヒメボタル 市・県：NT・VU

ナガサキトゲヒサゴゴミムシダマシ 県：NT

クロツバメシジミ 市 VU・県 NT・国 NT

マイコアカネ 市・県：NT

コオイムシ 市・県・国：NT・CR・N

ハマベオオヒメサビキコリ 市：EN

ヘイケボタル 市・県：VU

ハスジオオキノコムシ 市・県：DD・NT

オオヒョウタンキマワリ 市：NT

メスグロヒョウモン 市・県：NT



マダラゴキブリ



マイコアカネ



オオキンカメムシ



コオイムシ



コカブトムシ



ハマベオオヒメサビキコリ



ゲンジボタル



ヘイケボタル



ヒメボタル



ハスジオオキノコムシ



ナガサキトゲヒサゴゴミムシダマシ



オオヒョウタンキマワリ



クロツバメシジミ



メスグロヒョウモン

(3) 特筆すべき種

① ツマキチョウ

成虫は春のみに見られ、幼虫はハタザオ、ナズナ、タネツケバナなどの花や蕾などを食べて成長します。市内では生息地が限られています。

② カスミカメムシ

ウスオビヒメカスミカメは日本本土初記録、サトチビトビカスミカメとナガチビトビカスミカメは樺島が基準産地となっています。これら以外でも、九州初記録が2種、未記載種が3種いました。

③ ヘリアカゴミムシダマシ

南方系の種ですが、樺島や西彼半島で記録があります。

(4) 迷蝶

今回の調査では、ルリウラナミシジミ、アマミウラナミシジミ、メスアカムラサキ、リュウキュウムラサキ、カバマダラの5種しか確認できませんでした。しかし、ルリウラナミシジミは、飛来した個体が樺島で産卵して繁殖したようで、30数年ぶりに新鮮な個体が多数見られました。また、カバマダラもフウセントウワタで世代を交代させていました。



ルリウラナミシジミ



リュウキュウムラサキ



カバマダラ

(5) 外来種

長崎市ブルーリストにある外来種を 10 種確認しました。その一部を紹介しておきます。

アオマツムシ (A2)

アワダチソウグンバイ (A2)

クロマダラソテツシジミ (A2)

サツマゴキブリ (A3)

ラミーカミキリ (A3)

アメリカミズアブ (A3)

ヨツモンカメノコハムシ (A3)

ツマアカクモバチ (ツマアカベッコウ) (A3)

タテハモドキ (B1)

キョウチクトウスズメ (B1)



アオマツムシ



クロマダラソテツシジミ



サツマゴキブリ



ヨツモンカメノコハムシ



タテハモドキ



キョウチクトウスズメ

(6) 考察

調査の結果、蜻蛉目、半翅目、鞘翅目、鱗翅目などを中心に南方系の種が多く確認されました。レッドリストにある特定種が 18 種確認されました。例えば、ホタルは県内に生息する 10 種のうち 7 種が確認されたことから、森、草原、河川や湿地の環境が良好です。また、地下ダムには多くの水生昆虫（蜻蛉目、半翅目、鞘翅目）が、海岸付近では、海浜性のカゲロウやコメツキムシ、ゾウムシなども確認されました。外来種は 10 種で、対岸の長崎半島での確認数の 60%程度と種類が少ないことがわかりました。

これらのことから、樺島は外周 7.5 km、面積 2.2 km²ほどの小さな島ですが、民家を除いた大部分の地域には、多くの昆虫の生息を可能にしている多様な自然環境が残存していることがわかりました。しかし、一方、タヌキやイノシシが多く、糞やヌタ場のみならず、調査中に遭遇することもあり、環境破壊が懸念されます。

4 主な参考文献

樺島や周辺の野母崎について書かれ邦文のうち、地元の学会誌を中心にいくつかあげておきます。

- 1970 久保田堅児 野母崎町樺島におけるタテハモドキ採集記 こがねむし(19)p7
1970 久保田堅児 西彼杵郡野母崎町の蝶数種 こがねむし(19)p55
1971 有馬正貢 西彼杵郡野母崎町の蝶について こがねむし(21)p71-72
1973 高柳栄一 野母崎町脇岬のクロツバメシジミ こがねむし(25)p28
1977 江島正郎ほか 西彼杵郡野母崎町で採集した蝶数種 こがねむし(30)p47-48
1980 今坂正一 野母崎で採集した甲虫 こがねむし(36)p37-44
1980 安永智秀 長崎県南部における迷蝶の記録 こがねむし(37)p39-42
1980 吉田喜美明 野母崎で採集した迷蝶 こがねむし(37)p42-43
1981 安永智秀 野母崎における迷蝶の記録 こがねむし(38)p30
1983 蒲池伸一郎 西彼杵郡野母崎町弁天山でオオキンカメムシ採集 こがねむし(41)p62
1983 阿比留巨人 長崎県南部の甲虫類 こがねむし(42)p35-45
1986 今坂正一・野田正美 長崎県南部の甲虫類 こがねむし(47)p27-42
1987 中村和正 西彼半島南部におけるチョウ類採集記録 こがねむし(48)42-45
1989 荒巻健二ほか 野母崎にてマメクワガタを採集 こがねむし(50)p14
1989 野田正美・田中清 野母崎でアカマダラコガネを花上採集 こがねむし(50)p61
1991 田中清ほか 野母半島高浜の昆虫相 こがねむし(52)p14-32
1992 楠井善久 野母崎町中之島のアオヒメハナムグリの観察 こがねむし(53)p34-35
1995 島本勤 西彼野母崎町でスジグロシロチョウ採集 こがねむし(57)p44-45
1998 島本勤 西彼杵郡野母崎町における蝶の目撃・採集記録より こがねむし(60)p41-43
2014 深川元太郎・田中清 長崎県のヘリアカゴミムシダマシの記録 長崎県生物学会誌(75)p38-39
2016 安永智秀・Ram Keshari DUWAL 日本産チビトビカスミカメ類の概説と種の検索 (カスミカメムシ科) Rostria(50)p49-56